

# Book Review



## 歯界展望別冊 小手術がうまくなる 臨床のポイント Q&A 歯界展望 Selection 抜歯がうまくなる 臨床のポイント Q&A

山根源之・外木守雄 著

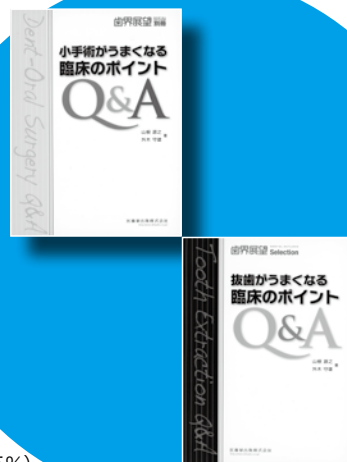


Reviewer

中沢勝宏

(東京都・中沢歯科医院)

小手術：A4 判変，142 頁  
定価 5,775 円  
(本体 5,500 円+税 5%)  
抜 歯：A4 判変，136 頁  
定価 6,300 円  
(本体 6,000 円+税 5%)  
医歯薬出版刊



私たち歯科臨床医は、抜歯や小手術を避けて日常臨床を行うことはできない。歯科臨床を行うにあたって最も小手術を行う頻度が低いと考えられる総義歯の臨床においてさえも、歯肉形態の修正であったり、骨の整形手術を避けて行うことが困難であろう。また、抜歯に至っては、残念ながら日常臨床の一部といってもいいほど実施されている。

ところが意外なのだが、私たちが何気なく行っている手術や抜歯に至るまでに知っておくべきことや、施術時に注意しなければならない必須事項が山ほどあるのに、それほど気を配っていないという事実がある。よく考えれば、とても恐ろしいことである。

このたび、歯界展望別冊『小手術がうまくなる 臨床のポイント Q & A』と歯界展望 Selection『抜歯がうまくなる 臨床のポイント Q & A』の 2 冊が上梓された。両書は東京歯科大学教授山根源之先生と東京歯科大学准教授外木守雄先生によるもので、抜歯や手

術についての詳細なヒントが豊富でわかりやすい模式図付きでまとめられている。

ここで簡単に紹介すると、両書ともに構成は術前の注意点、術前検査、消毒、医療連携、麻酔の技術、抜歯や手術の詳細な技法の紹介、創面の縫合、抗菌薬と鎮痛薬の選択と使用法の紹介、そして術中のトラブル回避法が述べられている。

著者らが総合病院に勤務していることと関係があるかもしれないが、術前の注意点は実に詳細に述べられており、ほとんどあらゆる状況に対して的確な判断ができるようまとめられている。

次いで術前検査であるが、病院勤務であれば簡単にオーダーできる検査もほとんどの開業医が躊躇するであろうが、本書では検査センターの紹介にも言及され検査へのハードルを低くするよう試みられている。消毒法は基本から述べられていて、知っていて当たり前知識として身につけられる。

次に、手術に必須の痛くない麻酔の技術が詳細、具体的に紹介されている。手術や抜歯の実際には各種器具の具体的・基本的な使用方法が紹介されているが、これがとてもきめ細かく述べられている。

また、縫合法は形成外科的要素もあって外科手術のなかでも重要であるが、具体的な方法については意外と忘れ去られていることが多い。本書では器具や材料の選択から入って、縫合の原則と具体的な方法を図で示してくれている。

その後の投棄、術中のトラブル回避法など、本当にきめ細かく術者に寄り添うようにまとめられている。また、Question も知っているようでよく考えたらやっぱり知らなかったというような内容なので、読んでいて満足のいくものであった。

この本は開業歯科医ばかりでなく、すべての臨床家がチェアサイドに常置しておくべき、安心安全を保証する本であると思う。